

複合的資源管理型漁業促進対策事業調査

マダイ（日本海）

（抄録）

小向 貴志

はじめに

第 I 期対象魚種マダイの資源管理後の漁獲動向を把握する。

材料及び方法

1960 年～1999 年のタイ類の年間漁獲量を、県統計を用いて市町村別に調べた。日本海沿岸 8 漁協（脇元、十三、車力、赤石水産、大間越の 5 漁協を除く）の 1997 年 1 月～1999 年 12 月におけるタイ類の漁獲量と金額を月別銘柄別に調べた。

結 果

1999 年のタイ類（マダイ・チダイ）の漁獲量は 137 トンで前年比 73%、漁獲金額は 1 億 2 千万円で前年比 60%に減少した。

漁協別漁獲量・金額

大戸瀬漁協と深浦漁協が漁獲量・金額ともに多く、2 漁協で全体の約半分を占めた。

月別漁獲量・金額

5～6 月と 11～12 月に漁獲のピークがみられた。特に 5～6 月の 2 ヶ月で 1 年の約半分の漁獲量・金額を水揚げしていた。

漁業種類別漁獲量・金額

漁獲量・金額とも定置網が大半を占め、99 年には各々 80%以上を占めていた。

大戸瀬漁協におけるタイ類の銘柄別単価の推移

1992 年以降の大戸瀬漁協におけるタイ類の銘柄別漁獲量は銘柄「P」（0.2kg）以下の年変動が激しいが、1997 年以降銘柄組成に大きな変動はなかった。また、単価は銘柄「中」が最も高く、その単価は 1992 年では 3,815 円/kg であったが年々安くなり 1999 年は 1,591 円/kg であった。